

クラス番号	326	担当教員名	両角 達平
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	若者の生活世界の構想		

ゼミナール概要

18世紀のヨーロッパのカフェやパブは、異なる階層の人々が議論して生活世界を構成する「公共圏(けん)」となっていました。しかしその後、科学技術の発達によって社会が合理化したことや、テレビなどのマスメディアが登場したこと、さらには資本主義の高度化により、生活世界が変容していきました。公共性を持った空間が少なくなり、人々の関心は自分の身の回りの人間関係や感情などの私的な領域に向くようになっていきました。その結果、若い世代もふくめ、人々の社会への関心は下がり、消費的な行動が盛んになり、人と人とのつながりが希薄化しました。遊びや余暇が無駄なものとなされ、教育も成長や効率を目指すものとなっていきました。これらがシステムの生活世界の「植民地化」の結果、起きたことです。

このような趨勢(すうせい)は後期近代に突入した日本でも例外ではありませんでした。システムの植民地化によって、若者の生活や居場所、生き方にはどのような影響が出たでしょうか。若者のどんな生活世界が奪われてしまったでしょうか。若者はどのように生き、世界と向き合っていけばよいのでしょうか。

このゼミでは以上の問題意識に基づいて「若者の生活世界の構想」を主要テーマにし、プロジェクトを実施します。テーマは「若者の生活世界の構想」です。さて、どんな若者の生活世界をつくっていきますか？

3 年時

ゼミ生同士でそれぞれの関心とゼミテーマに基づいてプロジェクト案を出し合って、グループをつくり、計画を立てて実行します。ゼミの時間は、進捗を共有する時間とします。卒論で書きたい・表現したいことも同時に準備していきます。



ゼミ紹介動画

4 年時

自らの興味・関心・問題意識に沿って、問いを立て、深め、自分なりの答えを出すことを目的に卒業論文を執筆します。卒業論文は、アカデミックな作法を守りながら論理的に表現できることを目標にします。

その他

また本ゼミでは、オンラインのプラットフォームで **Discord** を使用します。北欧研修をゼミで実施する際には、ゼミ生の参加を優先させます。

担当教員からのメッセージ



大学生の時に、「社会との距離が遠い」ことに疑問をもち、ユースワークの活動のヒントを探りにスウェーデンを訪ねたことが運の尽きでした。それから私の若者の「生活世界」をめぐる旅は始まりました。あるときはスウェーデンのユースセンターの現場、あるときはドイツの若者政策の国際 NGO で働き、ヨーロッパの若者の生活世界を、いち若者として過ごし、研究と発信をしてきました。若者をはじめとするあらゆる人が参画する社会が拓けていくにはどうしたらいいかをいつも考えています。そんな問いが少しでもあり、他者とのフラットな関係のなかで自分の「やりたいこと」を探し、実現するそんなゼミにしていきたいと思います。

エントリーシートには、①ゼミ選択の理由、②ゼミテーマにあったプロジェクト案(アイデアで構いません)を記入して提出してください。